

NTT Communications

Cloud<sup>n</sup>

**Compute**  
**(FLATタイプ)**  
**APIマニュアル**

**Ver.1.2**

本冊子掲載の内容の二次配布(配布・転載・提供等)は、ご遠慮ください。

版数	編集日	変更内容
Ver.1.0	2013/3/25	初版作成
Ver.1.1	2013/6/13	「Amazon Web Service EC2 互換 APIを利用する」を追記
Ver.1.2	2014/2/18	米国リージョン提供に伴う各種追記

# 目次

## 1 Cloud<sup>n</sup> Compute (FLATタイプ) APIを利用する

- 1) [Cloud<sup>n</sup> Compute\(FLATタイプ\) API一覧](#)
- 2) [Cloud<sup>n</sup> Compute\(FLATタイプ\) API 共通情報](#)
- 3) [非同期 API 処理](#)
- 4) [仮想マシン操作](#)
- 5) [セキュリティグループ操作](#)
- 6) [Service Offering](#)
- 7) [Disk Offering](#)
- 8) [Zone情報取得](#)
- 9) [Template操作](#)
- 10) [Volume操作](#)

## 2 Amazon Web Service EC2 互換 APIを利用する

- 1) [Amazon Web Service EC2 互換 APIを利用する](#)
- 2) [Amazon Web Service EC2 互換 API一覧](#)

## 1-1) Cloud<sup>n</sup> Compute(FLATタイプ) API一覧

本マニュアルにて解説しているAPIは下記となります。

	コマンド	概要	EC2 互換
非同期API処理	queryAsyncJobResult	非同期APIの実行状態および結果を追跡・確認する	
	listAsyncJobs	非同期APIが実行され、処理中のリクエストの一覧を取得する	
仮想マシン操作	listVirtualMachines	仮想マシン一覧を取得する	○
	deployVirtualMachine (A)	仮想マシンを作成する	○
	destroyVirtualMachine (A)	仮想マシンを削除する	○
	rebootVirtualMachine (A)	仮想マシンを再起動する	○
	startVirtualMachine (A)	仮想マシンを起動する	○
	stopVirtualMachine (A)		○
	resetPasswordForVirtualMachine(A)	仮想マシンのパスワードをリセットする	
	changeServiceForVirtualMachine	仮想マシンのサービスオファリング(スペック)を変更する	○
	updateVirtualMachine	仮想マシンに設定されたプロパティを変更する	
recoverVirtualMachine	仮想マシンを修復する		
Security Group 操作	listSecurityGroups	セキュリティグループ一覧取得する	
	createSecurityGroup	セキュリティグループを作成	
	deleteSecurityGroup	セキュリティグループの削除	
	authorizeSecurityGroupIngress (A)	受信ルールを追加	
	revokeSecurityGroupIngress (A)	受信ルールを削除	
	authorizeSecurityGroupEgress (A)	送信ルールの追加	
	revokeSecurityGroupEgress (A)	送信ルールの削除	



コマンドの後ろに(A)がつくものは、非同期メソッドとなります。非同期メソッドを実行すると非同期jobとして登録され、jobidが払い出されます。



EC2互換対応しているAPIの詳細については、「2 Amazon Web Service EC2 互換 APIを利用する」をご参照下さい。

## 1-1) Cloud<sup>n</sup> Compute(FLATタイプ) API一覧

	コマンド	概要	EC2互換
Service Offering	listServiceOfferings	選択可能な仮想マシンのカタログを取得する	
Disk Offering	listDiskOfferings	選択可能なDISKのカタログを取得する	
Zone情報取得	listZones	ゾーンの一覧を取得する	
Template操作	listTemplates	テンプレートの一覧を取得する	○
	createTemplate (A)	テンプレートを作成する	○
	updateTemplate	テンプレートの属性を更新する	
	copyTemplate (A)	テンプレートをコピーする	
	deleteTemplate (A)	テンプレートを削除する	○
	extractTemplate (A)	テンプレートダウンロード用URLを生成する	
Volume 操作	listVolumes	Disk Volume一覧を取得する	○
	attachVolume (A)	Diskを仮想マシンにアタッチする	○
	detachVolume (A)	Diskを仮想マシンからデタッチする	○
	createVolume (A)	Disk を作成する	
	uploadVolume (A)	Diskをアップロードする	
	deleteVolume (A)	Diskを削除する	○
	extractVolume (A)	Diskを外部に展開する	
Snapshot操作	listSnapshot	スナップショットの一覧を取得する	○
	createSnapshot (A)	スナップショットを作成する	○
	createSnapshotPolicy	定期スナップショットポリシーを作成する	
	deleteSnapshotPolicies	定期スナップショットポリシーを削除する	
	deleteSnapshot (A)	スナップショットを削除する	○

## 1-2) Cloud<sup>n</sup> Compute(FLATタイプ) API共通情報

本サービスにて提供しているAPI Server (End Point)は下記となります。

東日本DC <https://comp-api.jp-e1.cloudn-service.com/client/api>

米国DC <https://comp-api.us-e1.cloudn-service.com/client/api>

以下のテーブルは後述のAPI Requestにおいて用いる共通のパラメータを示しています。

Common Request Parameter		
パラメータ名	説明	必須
apikey	アクセスキーID (※1)	Yes
command	API メソッドを指定する	Yes
signature	リクエストに対する電子署名情報を指定する	Yes
response	値に、"json"を指定することで、responseをXMLから json 形式に変更する	No
expires	API リクエストの有効期限を指定する。指定方法は、strftime(3)の書式で、"%Y-%m-%dT%T%z"で指定 (※ 1)	No
signatureVersion	"3"を指定する (※1)	No



Signature (電子署名情報)の作成方法に関しては、「Compute(VLANタイプ) APIマニュアル」の「Cloud<sup>n</sup> Compute APIを利用する」を参照ください。



(※1). expires と signatureVersionを用いる場合は同時に指定する必要があります。

Common Response ( Asynchronous Methods )				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		"非同期メソッド名"response	レスポンスコンテナ	jobid
jobid	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid			



非同期メソッドを実行した際のレスポンスは、非同期メソッドにより、jobidを格納するコンテナの値が変わります。たとえば、"deployVirtuamMachine"メソッドを実行した場合、そのレスポンスコンテナは、"deployvirtualmachineresponse"となります。

## 1-3) 非同期API処理

### queryAsyncJobResult

概要 非同期APIの実行状態および結果を追跡・確認する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
jobid	非同期APIメソッドを実行した際に、返り値として渡されるjobidを指定する	Yes

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>queryasyncjobresultresponse</i>	レスポンスコンテナ	accountid, userid, cmd, jobstatus, jobprocstatus, jobresultcode, jobresulttype, jobresult, created, jjobid
		<i>accountid</i>	当該非同期APIのクエストを実行したアカウントのID	
		<i>userid</i>	当該非同期APIのクエストを実行したユーザのID	
		<i>cmd</i>	実行したコマンド(メソッド)	
		<i>jobstatus</i>	jobのステータス	
		<i>jobprocstatus</i>	jobの進捗に関するステータス	
		<i>jobresultcode</i>	当該ジョブの実行結果コード	
		<i>jobresulttype</i>	実行結果の形式	
		<i>jobresult</i>	(実行したジョブや、呼び出した非同期メソッドによって異なる)	
		<i>created</i>	ジョブとして登録された日時	
		<i>jobid</i>	非同期APIメソッドを実行した際に、返り値として渡されるjobid	

## 1-3) 非同期API処理

### listAsyncJobs

概要 非同期APIが実行され、処理中のリクエストの一覧を取得する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
domainid	ドメインIDを指定する。指定することにより、指定したドメイン以下の情報に絞り込む	No
account	指定したアカウントに属する情報に絞り込む。domainidと同時に利用する	No
isrecursive	true/ falseで指定する(default false)。trueを指定した場合、sub domainの情報も検索の対象に含める	No
keyword	キーワードを指定し、キーワードによる検索を実施する	No
listall	true/ falseで指定する(default false)。zoneidとisrecursive=trueと設定した場合に等しい	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default: 500)	No
startdate	非同期ジョブの実行開始日時を指定する。	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listasyncjobsresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, asyncjobs
		<i>count</i>	レスポンスに含まれる非同期jobオブジェクトの個数	
		<i>asyncjobs</i>	当該非同期jobを格納するコンテナ	accountid, userid, cmd, jobstatus, jobporcstatus, jobresultcode, jobresulttype, jobresult, created , jjobid
		<i>accountid</i>	当該非同期APIのクエストを実行したアカウントのID	
		<i>userid</i>	当該非同期APIのクエストを実行したユーザのID	
		<i>cmd</i>	実行したコマンド(メソッド)	
		<i>jobstatus</i>	jobのステータス	
		<i>jobprocstatus</i>	jobの進捗に関するステータス	
		<i>jobresultcode</i>	当該ジョブの実行結果コード	
		<i>jobresulttype</i>	実行結果の形式	
		<i>jobresult</i>	(実行したジョブや、呼び出した非同期メソッドによって異なる)	
		<i>created</i>	ジョブとして登録された日時	
		<i>jobid</i>	非同期APIメソッドを実行した際に、返り値として渡されるjobid	



## 1-4) 仮想マシン操作

### listVirtualMachines

概要 仮想マシンの一覧を取得する

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
details	詳細情報を取得する。指定出来る値は、 <i>all</i> , <i>group</i> , <i>nics</i> , <i>stats</i> , <i>secgrp</i> , <i>tmpl</i> , <i>servoff</i> , <i>iso</i> , <i>volume</i> 及び <i>min</i> 。また、複数指定する場合は、カンマ(,) で区切り指定する	No
domainid	domainid を指定する	No
groupid	VM Group のIDを指定する	No
id	仮想マシンのIDを指定する	No
isoid	仮想マシンをisoidにより指定する	No
isrecursive	サブドメインを検索対象に含める	No
keyword	仮想マシンをキーワードにより指定する	No
listall	true/ falseで指定する(default false). zoneidとisrecursive=trueと設定した場合に等しい	No
name	仮想マシンを名前により指定する	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default: 500)	No
state	仮想マシンの状態(Running, Stopped等)により、仮想マシンを指定する	No
tags	タグ情報(key, value)による検索条件を指定する。 タグ情報は、  <pre>tags[N].key="sample_key" tags[N].value="sample_value" (N=0, 1, 2, 3, ....)</pre> の形で指定する	No
templateid	仮想マシンをテンプレートIDにより指定する	No
zoneid	仮想マシンをZone idにより指定する	No

## 1-4) 仮想マシン操作

### listVirtualMachines

Response				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	<b>Node名</b>	<b>説明</b>	<b>子Node</b>
		<i>listvirtualmachinesresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, virtualmachine
		<i>count</i>	レスポンスに含まれる仮想マシンオブジェクトの個数	
		<i>virtualmachine</i>	仮想マシンを格納するコンテナ	
		<i>id</i>	仮想マシンのID	
		<i>account</i>	当該仮想マシンを所有するアカウント	
		<i>cpunumber</i>	当該仮想マシンのCPUの	
		<i>cpuspeed</i>	CPUのスピード	
		<i>cpuused</i>	CPU仕様率	
		<i>created</i>	当該仮想マシンの作成日時	
		<i>displayname</i>	当該仮想マシンの表示名	
		<i>domain</i>	ドメイン名	
		<i>domainid</i>	ドメインID	
		<i>group</i>		
		<i>groupid</i>		
		<i>guestosid</i>	OS のID	
		<i>haenable</i>	高可用性機能の有効・無効 (true / false )	
		<i>hypervisor</i>	常にKVM	
		<i>isodisplaytext</i>		
		<i>isoid</i>		
		<i>isoname</i>		
		<i>memory</i>	仮想マシンに搭載されたメモリサイズ	
		<i>name</i>	仮想マシンの名前	
		<i>networkkbsread</i>	ネットワークトラフィック量: incoming (KB)	
<i>networkkbswrite</i>	ネットワークトラフィック量: outgoing (KB)			
<i>password</i>	パスワード(パスワードリセットを実施時)			
<i>passwordenabled</i>	パスワードリセット機能が有効か否か (true/ else)			

## 1-4) 仮想マシン操作

### listVirtualMachines

Response (Cont)					
Response (Body)	形式	XML またはJson			
	XML / JSON	<b>Node名</b>	<b>説明</b>	<b>子Node</b>	
		<i>rootdeviceid</i>			
		<i>rootdevicetype</i>			
		<i>serviceofferingid</i>	Service Offering(仮想マシンのスペック)のID		
		<i>serviceofferingname</i>	Service Offering(仮想マシンのスペック)名		
		<i>state</i>	仮想マシンの状態		
		<i>templatedisplaytext</i>	テンプレート表示名		
		<i>templateid</i>	仮想マシン作成時のテンプレートまたはISOのID		
		<i>templatename</i>	仮想マシン作成時のテンプレートまたはISOの名前		
		<i>zoneid</i>	仮想マシンが存在するzoneのID		
		<i>zonename</i>	仮想マシンが存在するzone の名前		
		<i>nic</i>	Network Interface Card(NIC)の情報を格納するコンテナ		
			<i>id</i>	NICのID	
			<i>networkid</i>	NetworkのID	
			<i>netmask</i>	NICにアサインされたIP アドレスのnetmask	
			<i>gateway</i>	Default GatewayのIP アドレス	
			<i>ipaddress</i>	NICにアサインされたIP アドレス	
			<i>traffictype</i>	"Guest"	
			<i>type</i>	"Shared"	
			<i>isdefault</i>	通常使うNICか否か(常にtrue)	
			<i>macaddress</i>	MAC アドレス	
			<i>securitygroup</i>		
			<i>id</i>	セキュリティグループのID	
			<i>name</i>	セキュリティグループの名前	
			<i>descripton</i>	セキュリティグループの説明	
			<i>tags</i>	タグ情報の「コンテナ	
			<i>key</i>	タグのキー情報	
			<i>value</i>	タグの値	

## 1-4) 仮想マシン操作

### deployVirtualMachine (A)

概要	仮想マシンを作成する
----	------------

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
serviceofferingid	仮想マシンのスペックを確定するために、serviceOfferingIdを指定する	Yes
templateid	仮想マシンを作成する際に利用するテンプレートのID、またはISO ImageのIDを指定する	Yes
zoneid	仮想マシンを作成するゾーンを指定する	Yes
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
diskofferingid	diskofferingidを指定する。templateidがISO imageのIDの場合は、指定したdiskofferingidをもつDISKはroot DISKに、templateidで指定したIDがテンプレートであれば、Data DISKとして作成される	No
displayname	仮想マシンの任意の表示名	No
domainid	domainid を指定する。accountと同時に指定する	No
group	仮想マシンに任意のグループを設定する	No
keyboard	仮想マシンのキーボードタイプを指定する。指定出来る値は、de,de-ch,es,fi,fr,fr-be,fr-ch,is,it,jp,nl-be,no,pt,uk及びusのいずれか。	No
keypair	login時に利用するsshのkeypairの名前を指定する	No
name	仮想マシンに任意の名前を設定する。	No
securitygroupids	仮想マシンに適用するセキュリティグループのIDを指定する。複数指定する場合は、カンマ(,)区切りで指定する。このパラメータを指定する場合は、" securitygroupnames"を指定することが出来ない。	No
securitygroupnames	仮想マシンに適用するセキュリティグループの名前を指定する。複数指定する場合は、カンマ(,)区切りで指定する。このパラメータを指定する場合は、" securitygroupids"を指定することが出来ない。	No
userdata	任意のデータをbase64でエンコードして指定する(base64 encode後 2KBまで)	No



本コマンド例における「deployVirtualMachine」を利用される場合の各パラメータ値については以下をご参照ください。

- serviceofferingid:

東日本DC: Plan vQ=200c6378-8ae9-4718-9b25-b8c4f6c1dfc8  
 Plan v1=88ce379e-a686-4ae4-946f-dc3358275276  
 Plan v2=0b41ab6e-696e-4a91-b623-5b880e3be7a6  
 Plan v4=3164027a-3636-4cd5-a8be-f76d51d93a1a  
 Plan v8=a40f2dba-e51d-4175-a41d-8c0047e589b7

米国DC : Plan vQ=687f1045-3cd2-49ad-8215-fb8693a9abbb  
 Plan v1=601c7aeb-9587-4eed-8981-6f39800e4907  
 Plan v2=76f08ebb-2112-48fd-b6b7-e67eee50af36  
 Plan v4=cae2f46d-9055-4b45-af2d-808e23f07f5f  
 Plan v8=ce72c83c-9dff-493c-99ae-3e494fe1105a

- templateid: 生成時に利用するテンプレートIDになります。  
 (Computeコンソール画面の当該テンプレート情報より取得ください。)

- zoneid: 生成する先のzone IDになります。米国DCではZone選択機能は提供しておりません。  
 東日本DC: jp-e1a=1b02e74c-6c21-4aa3-b96c-51042de8fccd  
 jp-e1b=91e59e5f-2971-48e7-adbe-e853ed875e76

## 1-4) 仮想マシン操作

### deployVirtualMachine (A)

Response (※)				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>deployvirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job終了時(成功)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
<i>virtualmachine</i>		listVirtualMachineのResponseを参照。statusには、Running、ならびに、passwordに初期パスワードが含まれる		



(※) 非同期メソッドのため、“*deployvirtualmachineresponse*”コンテナには、*jobid*のみが返されます。  
*queryAsyncJobResult*を実行して、結果確認する必要があります。

## 1-4) 仮想マシン操作

### destroyVirtualMachine (A)

概要	仮想マシンを廃止する
----	------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>destroyvirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
		<i>jobresults (※ queryJobResultsのjobresultsの値)</i>		
	非同期job終了時 (成功時)	<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。statusには、Destroyedが含まれる	



(※)非同期メソッドのため、“destroyvirtualmachineresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-4) 仮想マシン操作

### rebootVirtualMachine (A)

概要	仮想マシンを再起動する
----	-------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>rebootvirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
		<i>jobresults (※ queryJobResultsのjobresultsの値)</i>		
	非同期job終了時 (成功時)	<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。statusにはRunning.が含まれる	



(※) 非同期メソッドのため、“rebootvirtualmachineresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-4) 仮想マシン操作

### startVirtualMachine (A)

概要	仮想マシンを起動する
----	------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>startvirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
		<i>jobresults (※ queryJobResultsのjobresultsの値)</i>		
	非同期job終了時 (成功時)	<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。statusには、Runningが含まれる	



(※) 非同期メソッドのため、“startvirtualmachineresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。



## 1-4) 仮想マシン操作

### stopVirtualMachine (A)

概要	仮想マシンを停止する
----	------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes
forced	強制終了フラグ。仮想マシンを強制的に、“Stopped”の状態にする	No

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>stopvirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
非同期job 終了時 (成功時)		<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。statusには、Stoppedが含まれる	



(※) 非同期メソッドのため、“stopvirtualmachineresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-4) 仮想マシン操作

### resetPasswordForVirtualMachine (A)

概要	仮想マシンに設定された初期アカウントのパスワードをリセットする。このコマンドを実行するためには、仮想マシンを停止させる必要がある。
----	---

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>resetpasswordforvirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
非同期job終了時 (成功時)		<i>jobresults (※ queryJobResultsのjobresultsの値)</i>		
		<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。statusには、Stoppedが含まれる。また、passwordには新規パスワードが含まれる	



(※)非同期メソッドのため、”resetpasswordforvirtualmachineresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-4) 仮想マシン操作

### changeServiceForVirtualMachine

概要	仮想マシンのサービスオファリング(スペック)を変更する。実行するためには、仮想マシンが停止状態にある必要がある。
----	--

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes
serviceofferingid	サービスオファリングIDを指定する	Yes

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>changeserviceforvirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	virtualmachine
		<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。statusには、Stoppedが、また、serviceofferingidや、cpunumber, memory, cpuspeedが変更される	

## 1-4) 仮想マシン操作

### updateVirtualMachine

概要	仮想マシンのプロパティを変更する
----	------------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes
displayname	仮想マシンの表示名	No
group	グループを変更する。グループを名前(string)で指定する	No
haenable	仮想マシンの高可用性機能を有効・無効にする(true / false で指定)	No
ostypeid	仮想マシンのOS Typeを変更する(IDで指定する)	No
userdata	任意のデータをbase64でエンコードして指定する(base64 encode後 2KBまで)	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>updatevirtualmachineresponse</i>		レスポンスコンテナ
		<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。リクエストで指定した値が変更され、返される	

## 1-4) 仮想マシン操作

### recoverVirtualMachine

概要	削除した仮想マシンを復元する
----	----------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	仮想マシンのidを指定する	Yes

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON 非同期job 終了時 (成功時)	Node名	説明	子Node
		<i>recovervirtualmachineresponse</i>	レスポンスコンテナ	virtualmachine
		<i>virtualmachine</i>	listVirtualMachineのResponseを参照。	



仮想マシンの状態が”Destroyed”のものを復旧します。 ”Expunging”の状態を経て、完全に削除された状態の仮想マシンは復旧出来ません。

## 1-5) セキュリティグループ操作

### listSecurityGroups

概要 セキュリティグループ一覧を取得する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
account	指定したアカウントに属する情報に絞り込む。domainidと同時に利用する	No
domainid	ドメインIDを指定する。指定することにより、指定したドメイン以下の情報に絞り込む	No
id	セキュリティグループのIdを指定する	No
isrecursive	サブドメインを検索対象に含める。(true/falseで指定)	No
keyword	任意キーワードによる検索条件の付与	No
listall	true/ falseで指定する(default false)。 zoneidとisrecursive=trueと設定した場合に等しい	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default:500)	No
securitygroupname	セキュリティグループの名前を指定する	No
tags	タグ情報(key, value)による検索条件を指定する。 タグ情報は、 tags[N].key="sample_key" tags[N].value="sample_value" (N=0, 1, 2, 3, .....) の形で指定する	No
virtualmachineid	仮想マシンのIDを指定する	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listsecuritygroupsresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, asyncjobs
		<i>count</i>	レスポンスに含まれるセキュリティグループオブジェクトの個数	
		<i>securitygroup</i>	セキュリティグループオブジェクトを格納するコンテナ	accountid, userid, cmd, jobstatus, jobporcstatus, jobresultcode, jobresulttype, jobresult, created , jjobid
		<i>id</i>	セキュリティグループのid	
		<i>account</i>	当該セキュリティポリシーを所有するアカウント	
		<i>userid</i>	当該非同期APIのクエストを実行したユーザのID	
		<i>description</i>	当該セキュリティポリシーに関する説明	
		<i>domainid</i>	当該セキュリティポリシーを保持するドメインのID	
		<i>domiain</i>	当該セキュリティポリシーを保持するドメインの名前	
		<i>name</i>	当該セキュリティポリシーの名前	
		<i>tags</i>	タグ情報のコンテナ	key, value
		<i>key</i>	タグのキー情報	
		<i>Value</i>	タグの値	

## 1-5) セキュリティグループ操作

### listSecurityGroups

Response (Cont)					
Response (Body)	形式	XML または Json			
	XML / JSON	Node名		説明	子Node
		tags		タグ情報のコンテナ	key, value
			key	タグのキー情報	
			Value	タグの値	
		egress		egress filter (outgoingの通信にかけるフィルタ)のルールを格納するコンテナ	ruleid, protocol, startport, endpoint, cidr, icmp-type, icmp-code
			ruleid	egress filterのルールID	
			protocol	tcp, udp, icmp. (all) のいずれかを指定する	
			startport	tcp又はudpを指定した際、port rangeの始点	
			endpoint	tcp,又はudpを指定した際、port rangeの終点	
			cidr	送信先(destination addresses)をCIDR(Classless Inter-Domain-Routing) Block 単位で返される(例: 192.0.2.0/24)	
			icmp-code	icmpのコード ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	
			icmp-type	icmpのtype ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	
		ingress		ingress filter (incomingの通信にかけるフィルタ)のルールを格納するコンテナ	ruleid, protocol, startport, endpoint, cidr, icmp-type, icmp-code
			ruleid	egress filterのルールID	
			protocol	tcp, udp, icmp, (all) のいずれか	
			startport	tcp又はudpを指定した際、port rangeの始点を指定する	
			endpoint	tcp,又はudpを指定した際、port rangeの終点を指定する	
			cidr	通信元(source addresses)をCIDR(Classless Inter-Domain-Routing) Block 単位で返される(例: 192.0.2.0/24)	
			icmp-code	icmpのコード ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	
			icmp-type	icmpのtype ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	

## 1-5) セキュリティグループ操作

### createSecurityGroup

概要	セキュリティグループを作成する
----	-----------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
name	セキュリティグループに任意の名前を設定する。	Yes
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
domainid	domainid を指定する。accountと同時に指定する	No
description	セキュリティグループの説明を指定する	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>createsecuritygroupresponse</i>	レスポンスコンテナ	securitygroup
		<i>securitygroup</i>	セキュリティグループオブジェクトを格納するコンテナ	id, name, description, account, domainid, domain
		<i>id</i>	セキュリティグループのid	
		<i>name</i>	セキュリティグループの名前	
		<i>description</i>	セキュリティグループの説明	
		<i>account</i>	セキュリティグループの保有アカウント	
		<i>domainid</i>	セキュリティグループの保有ドメインID	
		<i>domain</i>	セキュリティグループの保有ドメイン	



## 1-5) セキュリティグループ操作

### deleteSecurityGroup

概要	セキュリティグループを削除する
----	-----------------

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
id	削除対象のセキュリティグループのidを指定する	Yes(※)
name	削除対象のセキュリティグループの名前を設定する。	Yes(※)
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
domainid	domainid を指定する。accountと同時に指定する	No



Idとnameのどちらかは必須です。また、nameとidを同時に指定することは出来ません。

Response				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>deletesecuritygroupresponse</i>	レスポンスコンテナ	success
	<i>success</i>	削除リクエストに対して、成功の場合はtrue, 失敗の場合は、falseが与えられ返される		

## 1-5) セキュリティグループ操作

### authorizeSecurityGroupIngress (A)

概要	セキュリティグループにingressのフィルター(incomingの通信)に対する”permit”ルールを設定する
----	---

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
securitygroupid	対象のセキュリティグループのidを指定する	Yes(※)
securitygroupname	対象のセキュリティグループの名前を設定する。	Yes(※)
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
cidrlist	通信元(source addresses)をCIDR(Classless Inter-Domain-Routing) Block 単位で指定する(例: 192.0.2.0/24)	No (※1)
domainid	domainid を指定する。accountと同時に指定する	No
endport	tcp又はudpを指定した際、port rangeの終点を指定する	No
icmpcode	protocolでicmpを指定した場合にコードを指定する ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	No
icmptype	protocolでicmpを指定した場合にコードを指定する ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	No
protocol	tcp, udp, 又はicmpのいずれかを指定する	No
startport	tcp,又はudpを指定した際、port rangeの始点を指定する	No



(※) securitygroupidと、securitygroupnameのどちらかは必須です。また、同時に指定することは出来ません。



(※1) 少なくとも、一つのCIDR Blockを”cidrlist”に含めるか、usersecuritygroupulistに必要があります。また、cidrlistだけを指定した場合、protocolの値は”all”となります。

Response				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>authorizeSecurityGroupIngressresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ queryJobResultsのjobresultsの値)		
<i>securitygroup</i>		IlistSecurityGroupのResponseを参照。		



(※) 非同期メソッドのため、” authorizeSecurityGroupIngressresponse ”コンテナには、jobidのみが返されません。queryAsyncResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-5) セキュリティグループ操作

### revokeSecurityGroupIngress (A)

概要      セキュリティグループに設定された、特定のingress filterのルールを削除する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	Ingress filterのルールid (ruleid)を指定する	Yes(※)

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>revokesecuritygroupingress</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>success</i>	成功時にはtrue, 失敗時にはfalseが返される	



(※) 非同期メソッドのため、“*revokesecuritygroupingress*”コンテナには、*jobid*のみが返されます。  
*queryAsyncJobResult*を実行して、結果確認する必要があります。

## 1-5) セキュリティグループ操作

### authorizeSecurityGroupEgress (A)

概要	セキュリティグループに Egressのフィルター(outgoingの通信)に対するルールを設定する
----	---

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
securitygroupid	対象のセキュリティグループのidを指定する	Yes(※)
securitygroupname	対象のセキュリティグループの名前を設定する。	Yes(※)
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
cidrlist	通信元(source addresses)をCIDR(Classless Inter-Domain-Routing) Block 単位で指定する(例: 192.0.2.0/24)	No (※1)
domainid	domainid を指定する。accountと同時に指定する	No
endport	tcp又はudpを指定した際、port rangeの終点を指定する	No
icmpcode	protocolでicmpを指定した場合にコードを指定する ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	No
icmptype	protocolでicmpを指定した場合にコードを指定する ( <a href="http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml">http://www.iana.org/assignments/icmp-parameters/icmp-parameters.xml</a> )	No
protocol	tcp, udp, 又はicmpのいずれかを指定する	No
startport	tcp,又はudpを指定した際、port rangeの始点を指定する	No



(※) securitygroupidと、securitygroupnameのどちらかは必須です。また、同時に指定することは出来ません。



(※1) 少なくとも、一つのCIDR Blockを”cidrlist”に含める必要があります。また、cidrlistだけを指定した場合、protocol の値は”all”となります。

Response				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>authorizeSecurityGroupIngressresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ queryJobResultsのjobresultsの値)		
<i>securitygroup</i>		IlistSecurityGroupのResponseを参照。		



(※) 非同期メソッドのため、”authorizeSecurityGroupIngressresponse”コンテナには、jobidのみが返されません。queryAsyncResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-5) セキュリティグループ操作

### revokeSecurityGroupEgress (A)

**概要** セキュリティグループに設定された、特定のEgress filterのルールを削除する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	Egress filterのルールid (ruleid)を指定する	Yes(※)

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>revokesecuritygroupegress</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job終了時(成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>success</i>	成功時にはtrue, 失敗時にはfalseが返される	



(※) 非同期メソッドのため、“*revokesecuritygroupegress*”コンテナには、*jobid*のみが返されます。  
*queryAsyncJobResult*を実行して、結果確認する必要があります。

## 1-6) Service Offering

### listServiceOfferings

概要 Cloud<sup>n</sup> Compute Flat Typeで利用出来る仮想マシンのカタログを取得する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	Service OfferingのIdを指定する	No
keyword	任意キーワードによる検索条件の付与	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default: 500)	No
name	service offering名	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listserviceofferingsresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, serviceoffering
		<i>count</i>	レスポンスに含まれるServiceOfferingオブジェクトの個数	
		<i>serviceoffering</i>	ServiceOfferingオブジェクトを格納するコンテナ	id, name, displaytext, cpunumber, cpuspeed, memory, created, storagetype, offerha, limitcpuuse, tags, domainid, domain, hosttag, issystem, defaultuse
		<i>id</i>	Service Offering のid	
		<i>name</i>	Service Offering 名	
		<i>displaytext</i>	Service Offeringの表示名	
		<i>cpunumber</i>	仮想マシンのCPUの数	
		<i>cpuspeed</i>	仮想マシンのCPUのclock speed (MHz)	
		<i>memory</i>	仮想マシンに搭載されたメモリ	
		<i>created</i>	Service Offeringとして登録された日付	
		<i>storagetype</i>	“Shared”	
		<i>offerha</i>	高可用性機能をサポートしているか否か	
		<i>limitcpuuse</i>	常に“true”	
		<i>tags</i>	タグ情報	
		<i>domainid</i>	管理ドメインのID	
		<i>domain</i>	管理ドメイン名	
		<i>hosttags</i>	タグ情報	
		<i>issystem</i>	false	
		<i>defaultuse</i>	false	

## 1-7) Disk Offering

### listDiskOfferings

概要	Cloud <sup>n</sup> Compute Flat Typeで利用出来るDiskのカatalogを取得する
----	---

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
id	Disk OfferingのIdを指定する	No
keyword	任意キーワードによる検索条件の付与	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default: 500)	No
name	Disk offering名	No

Response				
Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listdiskofferingsresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, diskoffering
		<i>count</i>	レスポンスに含まれるServiceOfferingオブジェクトの個数	
		<i>diskoffering</i>	DiskOfferingオブジェクトを格納するコンテナ	id, name, displaytext, disksize, created, storagetype, tags, domainid, domain, iscustomized
		id	Disk Offering のid	
		name	Disk Offering 名	
		displaytext	Disk Offeringの表示名	
		disksize	Diskのサイズ(GB)	
		created	Disk Offeringとして登録された日付	
		storagetype	"Shared"	
		tags	タグ情報	
		domainid	管理ドメインのID	
		domain	管理ドメイン名	
iscustomized	custom sizeに対応しているか否か			

## 1-8) Zone情報

### listZones

概要 Cloud<sup>n</sup> Compute Flat Typeで利用出来るZoneの情報を取得する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	Disk OfferingのIdを指定する	No
keyword	任意キーワードによる検索条件の付与	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default: 500)	No
name	Disk offering名	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listzonesresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, serviceoffering
		<i>count</i>	レスポンスに含まれるServiceOfferingオブジェクトの個数	
		<i>zone</i>	zoenオブジェクトを格納するコンテナ	id, name, displaytext, cpunumber, cpuspeed, memory, created, storagetype, offerha, limitcpuuse, tags, domainid, domain, hosttag, issystem, defaultuse
		<i>id</i>	zoneのid	
		<i>name</i>	zone名	
		<i>created</i>	Service Offeringとして登録された日付	
		<i>domainid</i>	管理ドメインのID	
		<i>domain</i>	管理ドメイン名	
		<i>domainname</i>	管理ドメイン名	
		<i>networktype</i>	“Basic”	
		<i>securitygroupsenabled</i>	セキュリティグループ機能が有効か否か	
		<i>allocationstate</i>	クラスタの割当状況	
		<i>zonetoken</i>	zone token	
		<i>localstorageenabled</i>	ローカルストレージの利用可否	



## 1-9) Template操作

### listTemplates

概要	Cloud <sup>n</sup> Compute Flat Typeサービスで提供しているテンプレートや、自作テンプレート等の一覧を取得する
----	--

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
templatefilter	以下のいずれかを指定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• featured (注: Cloudn Compute Flat Typeサービスで提供しているオフィシャルテンプレート一覧を取得するためのフィルター)</li> <li>• self (注: 自作または持ち込みテンプレート一覧を取得するためのフィルター)</li> <li>• self-executable (注: 自作、持ち込みテンプレートで、かつ新しいVMを作成するのに利用できるテンプレート一覧を取得するフィルター)</li> <li>• executable (注: 新しいVMを作成するのに利用できるテンプレート一覧を取得するフィルター)</li> </ul>	Yes
account	指定したアカウントに属する情報に絞り込む。domainidと同時に利用する	No
domainid	ドメインIDを指定する。指定することにより、指定したドメイン以下の情報に絞り込む	No
hypervisor	Hypervisor を指定。	No
id	テンプレートのIDを指定	No
isrecursive	サブドメインが保有するテンプレートも検索対象とする	No
keyword	キーワードによる検索を実施する	No
listall	true/ falseで指定する(default false)。zoneidとisrecursive=trueと設定した場合に等しい	No
name	テンプレート名を指定して、検索を実施する	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default: 500)	No
tags	タグ情報(key, value)による検索条件を指定する。 タグ情報は、  <pre>tags[N].key="sample_key" tags[N].value="sample_value" (N=0, 1, 2, 3, ...)</pre> の形で指定する	No
zoneid	テンプレートの存在するゾーンを指定する	No

# 1-9) Template操作

## listTemplates

### Response

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listtemplatesresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, template
		<i>count</i>	レスポンスに含まれるtemplateオブジェクトの個数	
		<i>template</i>	templateオブジェクトを格納するコンテナ	id, name, displaytext, ispublic, created, isready, passwordenabled, format, isfeatured, crossZones, ostypeid, account, zoneid, zonenumber, status, size, type, hypervisor, tags, domainid, domain, isextractable, checksum, sshkeyenabled, sourcetemplateid
		<i>id</i>	テンプレートのid	
		<i>name</i>	テンプレート 名	
		<i>displaytext</i>	テンプレートの表示名	
		<i>ispublic</i>	public テンプレートかどうか (true/false)	
		<i>created</i>	テンプレートの作成日時が返る	
		<i>isready</i>	利用可能か否か (true / false)	
		<i>passwordenabled</i>	パスワードリセット機能の有無	
		<i>format</i>	テンプレートのフォーマット	
		<i>isfeatured</i>	Cloudn Compute Flat Typeサービスで提供しているオフィシャルテンプレートか否か (true/false)	
		<i>crossZones</i>	zoneを跨いで管理されているか否か (true/false)	
		<i>ostypeid</i>	テンプレートのOS Type ID	
		<i>ostypename</i>	テンプレートのOS Type 名	
		<i>account</i>	テンプレートを保有するアカウント名	
		<i>zoneid</i>	テンプレートが管理されているzoneのid	
		<i>zonenumber</i>	テンプレートが管理されているzoneの名前	
		<i>status</i>	テンプレートのステータス	
		<i>size</i>	テンプレートのサイズ	
		<i>templatetype</i>	テンプレートタイプ	
		<i>hypervisor</i>	ハイパーバイザーの種類	
		<i>domain</i>	テンプレートを保有するドメインの名前	
		<i>domainid</i>	テンプレートを保有するドメインのid	
		<i>isextractable</i>	展開が可能か否か (true/false)	
	<i>checksum</i>	テンプレートのチェックサム値		
	<i>tags</i>	タグ情報		
	<i>sshkeyenabled</i>	ssh-key機能が利用出来るか否か		
	<i>sourcetemplateid</i>	当該テンプレートのもとになったテンプレートのID		

## 1-9) Template操作

### createTemplate(A)

概要	テンプレートを作成する
----	-------------

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
displaytext	テンプレートの表示名指定する	Yes
name	テンプレート名を指定する	Yes
ostypeid	テンプレートのOSタイプを指定する	Yes
bits	32もしくは64ビットを指定する	No
details	テンプレートの詳細を指定する。(key/value形式)	No
ispublic	public テンプレートかどうかを指定する(true/false)	No
passwordenabled	パスワード変更の可否を指定する	No
snapshotid	生成元のSnapshot IDを指定する	Yes(※)
templatetag	テンプレートタグを指定する	No
volumeid	生成元のRootディスクのボリュームIDを指定する	Yes(※)



(※) snapshotidと、volumeidのどちらかは必須です。また、同時に指定することは出来ません。

Response (※)			
Response (Body)	形式	XML またはJson	
	XML / JSON	Node名	説明
		createtemplateresponse	レスポンスコンテナ
	非同期job終了時(成功)	jobid	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid
jobresults (※ queryJobResultsのjobresultsの値)			
	template	listTemplatesのResponseを参照。	



(※) 非同期メソッドのため、“createtemplateresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-9) Template操作

### updateTemplate

概要      テンプレート属性を更新する

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	属性の更新をするテンプレートIDをする	Yes
displaytext	テンプレート表示名を指定する	No
format	テンプレート形式を指定する	No
name	テンプレート名を指定する	No
ostypeid	テンプレートのOS Type IDを指定する	No
passwordenabled	パスワード変更可否を指定する	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		updatetemplatesresponse	レスポンスコンテナ	
		id	テンプレートのid	
		name	テンプレート 名	
		displaytext	テンプレートの表示名	
		ispublic	public テンプレートかどうか (true/false)	
		created	テンプレートの作成日時が返る	
		isready	利用可能か否か(true / false)	
		passwordenabled	パスワードリセット機能の有無	
		format	テンプレートのフォーマット	
		isfeatured	Cloudn Compute Flat Typeサービスで提供しているオフィシャルテンプレートか否か (true/false)	
		crossZones	zoneを跨いで管理されているか否か (true/false)	
		ostypeid	テンプレートのOS Type ID	
		ostypename	テンプレートのOS Type 名	
		hypervisor	ハイパーバイザーの種類	
		domain	テンプレートを保有するドメインの名前	
		domainid	テンプレートを保有するドメインのid	
		isextractable	展開が可能か否か(true/false)	
		checksum	テンプレートのチェックサム値	
		tags	タグ情報	

## 1-9) Template操作

### copyTemplate(A)

概要	テンプレートをコピーする
----	--------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	コピーするテンプレートIDを指定する	Yes
destzoneid	コピー先のゾーンIDを指定する	Yes
sourcezoneid	コピー元のゾーンIDを指定する	Yes

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>copytemplateresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期 job 終了時 (成功)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>template</i>	listTemplatesのResponseを参照。	



(※) 非同期メソッドのため、“*copytemplateresponse*”コンテナには、*jobid*のみが返されます。  
*queryAsyncJobResult*を実行して、結果確認する必要があります。

## 1-9) Template操作

### deleteTemplate(A)

概要	テンプレートを削除する
----	-------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	削除対象のテンプレートのIDを指定する	Yes
zoneid	削除対象テンプレートが所属するZone IDを指定する	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>deletetemplateresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job終了時(成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>success</i>	成功時にはtrue, 失敗時にはfalseが返される	



(※) 非同期メソッドのため、“deletetemplateresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-9) Template操作

### extractTemplate (A)

概要	テンプレートのダウンロード用URLを生成する
----	------------------------

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
id	ダウンロードするテンプレートIDを指定する	Yes
mode	“HTTP_DOWNLOAD”を指定する	Yes
zoneid	取得するテンプレートの存在するZone IDを指定する	Yes

Response (※)				
Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>extracttemplateresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job終了時(成功)	<i>jobresults</i> (※ <i>query.JobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>template</i>	templateオブジェクトを格納するコンテナ	Id, name, extractid, accountid, state, zoneid, zonename, extraceMode, url
		id	テンプレートのid	
		<i>name</i>	テンプレート名	
		<i>extractId</i>	抽出ID	
		<i>accountid</i>	アカウントID	
<i>state</i>		状態(成功時“DOWNLOAD_URL_CREATED”)		
<i>Zoneid</i>		ゾーンID		
<i>Zonename</i>		ゾーン名		
<i>extractMode</i>	HTTP_DOWNLOAD			
<i>url</i>	生成されたダウンロード用URL			



(※)非同期メソッドのため、“*extracttemplateresponse*”コンテナには、*jobid*のみが返されます。  
*queryAsyncJobResult*を実行して、結果確認する必要があります。



Rootディスクをもとに作成したテンプレートでのみダウンロードが可能です。(snapshotをもとに作成したテンプレートについては、ダウンロードすることができません。)

## 1-10) Volume操作

### listVolumes

概要	Disk Volume 一覧を取得する
----	---------------------

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
account	指定したアカウントに属する情報に絞り込む。domainidと同時に利用する	No
details	取得する情報にフィルターを設定する。指定出来るあたいは、 all, vm, account, storage_type, disk_offering及びmin。 複数指定する場合は、カンマ(,)区切りで指定する。	No
domainid	ドメインIDを指定する。指定することにより、指定したドメイン以下の情報に絞り込む	No
id	テンプレートのIDを指定	No
isrecursive	サブドメインが保有するDisk Volumeも検索対象とする	No
keyword	キーワードによる検索を実施する	No
listall	true/ falseで指定する(default false)。 zoneidとisrecursive=trueと設定した場合に等しい	No
name	Volume名を指定して、検索を実施する	No
page	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
pagesize	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。 pageと同時にしている。(default: 500)	No
tags	タグ情報(key, value)による検索条件を指定する。 タグ情報は、  tags[N].key="sample_key" tags[N].value="sample_value" (N=0, 1, 2, 3, ....)  の形で指定する	Np
type	Disk Volumeのタイプを指定する。(ROOT / DATADISK)	No
virtualmachineid	仮想マシンのidによる検索条件を付与する	No
zoneid	zone idによる検索条件を付与する	No



# 1-10) Volume操作

## listVolumes

Response				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listvolumesresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, volume
		<i>count</i>	レスポンスに含まれるtemplateオブジェクトの個数	
		<i>volume</i>	volumeオブジェクトを格納するコンテナ	id,name,zoneid,zonename,type,deviceid,virtualmachineid,vmname,vmdisplayname,vmstate,size,created,state,account,domainid,domain,storagetype,storage,attached,destroyed,serviceofferingid,serviceofferingname,serviceofferingdisplaytext,isextractable,tags,diskofferingid,diskofferingname,diskofferingdisplaytext
		id	Volumeのid	
		name	Volume名	
		zoneid	Volumeが管理されているzoneのid	
		zonename	Volumeが管理されているzoneの名前	
		type	VolumeのType (ROOT / DATADISK)	
		deviceid	デバイスのID	
		virtualmachineid	仮想マシンのID	
		vmname	仮想マシンの名前	
		vmdisplayname	仮想マシンの表示名	
		vmstate	仮想マシンの状態	
		size	Volumeのサイズ	
		created	Volumeの作成日時	
		state	Volumeの状態	
		account	Volumeを保有するアカウントの名前	
		domainid	Volumeを保有するドメインのID	
		domain	Volumeを保有するドメインの名前	
		storagetype	ストレージのタイプ	
		storage	ストレージの名前	
		attached	Volumeが仮想マシンにアタッチされた日時	
		destroyed	破棄されたか否か (true / false)	
		serviceofferingid	仮想マシンのServiceOffering ID (TypeがROOTの場合)	
		serviceofferingname	仮想マシンのServiceOffering 名 (TypeがROOTの場合)	
		serviceofferingdisplaytext	仮想マシンのServiceOffering の表示名 (TypeがROOTの場合)	
isextractable	展開可能か否か			
tags	タグ情報			

## 1-10) Volume操作

### listVolumes

Response (Cont)				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>diskofferingid</i>	仮想マシンのDisk Offering ID (TypeがDATADISKの場合)	
		<i>diskofferingname</i>	仮想マシンのDisk Offering 名 (TypeがDATADISKの場合)	
		<i>diskofferingdisplaytext</i>	仮想マシンのDisk Offering の表示名 (TypeがDATADISKの場合)	

## 1-10) Volume操作

### attachVolume (A)

概要	仮想マシンにVolumeをアタッチする
----	---------------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	Volumeのidを指定する	Yes
virtualmachineid	Targetとする仮想マシンのidを指定する	Yes

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>attachvolumeresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>volume</i>	listVolumeのResponseを参照。	



(※) 非同期メソッドのため、“attachvolumeresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-10) Volume操作

### detachVolume (A)

概要	仮想マシンからVolumeをデタッチする
----	----------------------

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
id	Volumeのidを指定する	Yes(※)
virtualmachineid	Targetとする仮想マシンのidを指定する	Yes(※)
deviceid	仮想マシン上のdeviceidを指定する	Yes(※)



“id” または、“deviceid, virtualmachineid”(deviceidとvirtualmachineidを同時に指定)は必須

Response (※)				
Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>detachhvolumeresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
<i>volume</i>		listVolumeのResponseを参照。		



(※)非同期メソッドのため、“detachvolumeresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-10) Volume操作

### createVolume (A)

概要	Volumeを作成する
----	-------------

Request Parameters		
パラメータ名	説明	必須
name	Volumeの名前を指定する	Yes
diskofferingid	Disk Offering IDを指定する	Yes(※)
snapshotid	Snapshot IDを指定する	Yes(※)
zoneid	Zone idを指定する	Yes
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
domainid	domainid を指定する。accountと同時に指定する	No



“diskofferingid”、“snapshotid”のいずれかは必須。また、同時に指定出来ない

Response (※)			
Response (Body)	形式	XML またはJson	
	XML / JSON	Node名	説明
		<i>createvolumeresponse</i>	レスポンスコンテナ
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)	
<i>volume</i>		listVolumeのResponseを参照。	



(※) 非同期メソッドのため、“createvolumeresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-10) Volume操作

### uploadVolume (A)

概要	Volumeをアップロードする
----	-----------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
format	Diskのフォーマットを指定する。指定出来るフォーマットは、“QCOW2”, “OVA”, および“VHD”。	Yes
name	Volumeの名前を指定する	Yes
url	VolumeのダウンロードもとのURLを指定する。URLは、“http”あるいは、“https”のいずれかのプロトコルで指定する	Yes
zoneid	Zone idを指定する	Yes
account	domainidと共に使用して、任意のアカウントを指定する	No
domainid	domainid を指定する。accountと同時に指定する	No

#### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>uploadvolumeresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>volume</i>	listVolumeのResponseを参照。	



(※)非同期メソッドのため、“uploadvolumeresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 1-10) Volume操作

### deleteVolume

概要	Volumeを削除する
----	-------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	VolumeのIDを指定する	Yes

#### Response

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>deletevolumeresponse</i>	レスポンスコンテナ	success
	<i>success</i>	成功時にはtrueが、失敗時にはfalseが返される		

# 1-10) Volume操作

## extractVolume (A)

概要 Volumeを展開する

### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	Volumeのidを指定する	Yes
mode	“HTTP_DOWNLOAD” あるいは “FTP_UPLOAD”のいずれかを指定する	Yes
zoneid	Volumeが存在するZone idを指定する	Yes
url	Volumeが展開されるURLを指定する	No

### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
非同期job 終了時 (成功時)		<i>extractvolumeresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
		<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>volume</i>	Volume Objectを格納するコンテナ	id,name,extractId,accountid,state,zoneid,zonename,extractMode,url, created, status, storagetype, uploadpercentage
		<i>id</i>	展開されたVolumeのid	
		<i>accountid</i>	展開したVolumeを保有するアカウントのID	
		<i>created</i>	展開されたvolume オブジェクトが作成された日時	
		<i>extractId</i>	展開済みobjectのID	
		<i>extractMode</i>	展開時のモード (HTTP_DOWNLOAD / FTP_UPLOAD)	
		<i>name</i>	展開されたオブジェクト(Volume)の名前	
		<i>state</i>	展開されたオブジェクトの状態	
		<i>status</i>	ステータス	
		<i>storagetype</i>	ストレージの種類	
		<i>uploadpercentage</i>	アップロードの進捗	
		<i>zoneid</i>	展開元のvolume objectが存在したzoneのid	
	<i>zonename</i>	展開元のvolume objectが存在したzoneの名前		
	<i>url</i>	modeに“HTTP_DOWNLOAD”を指定した場合は、展開したオブジェクトをダウンロードするためのURLが、“FTP_UPLOAD”を指定した場合は、オブジェクトがアップロードされるURL		



(※)非同期メソッドのため、“extractvolumeresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。  
queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。



## 1-11) Snapshot操作

### listSnapshots

概要	作成したスナップショットの一覧を取得する
----	----------------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
<i>account</i>	指定したアカウントに属する情報に絞り込む。domainidと同時に利用する	No
<i>domainid</i>	ドメインIDを指定する。指定することにより、指定したドメイン以下の情報に絞り込む	No
<i>id</i>	スナップショットIDを指定する	No
<i>intervaltype</i>	定期スナップショットの場合の取得間隔を指定する (WEEKLY, MONTHLY.)	No
<i>isrecursive</i>	true/ falseで指定する。(default false) trueを指定した場合、sub domainの情報も検索の対象に含める	No
<i>keyword</i>	キーワードを指定し、キーワードによる検索を実施する	No
<i>listall</i>	true/ falseで指定する(default false). zoneidとisrecursive=trueと設定した場合に等しい	No
<i>name</i>	スナップショット名を指定する	No
<i>page</i>	pagesizeと同時に指定して、ページ番号を指定する	No
<i>pagesize</i>	一度のリクエストに含めるレスポンス(非同期ジョブ)の個数を指定する。pageと同時にしている。(default: 500)	No
<i>snapshottype</i>	スナップショットタイプを指定する	No
<i>volumeid</i>	ディスクボリュームIDを指定する	No

# 1-11) Snapshot操作

## listSnapshots

### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>listtsnapshotresponse</i>	レスポンスコンテナ	count, snapshot
		<i>count</i>	レスポンスに含まれるsnapshotオブジェクトの個数	
		<i>snapshot</i>	snapshotオブジェクトを格納するコンテナ	id, account, created, domain, domainid, intervaltype, name, snapshottype, state, volumeid, volumename, volumetype
		id	スナップショットのid	
		account	テンプレートを保有するアカウント名	
		created	スナップショットの表示名	
		domain	スナップショットを保有するドメインの名前	
		domainid	スナップショットを保有するドメインのid	
		intervaltype	定期スナップショットの場合の取得間隔 (WEEKLY, MONTHLY.)	
		name	スナップショット 名	
		snapshottype	スナップショットの取得タイプ (手動取得時は、MANUAL, 定期取得時は、WEEKLY, MONTHLY.)	
		state	スナップショットの状態 BackedUp – 作成済(使用可能); Creating – プライマリストレージにてスナップショット割り当て中; BackingUp – セカンダリストレージ上にてバックアップ中	
		volumeid	スナップショット取得元のディスクボリュームID	
		volumename	スナップショット取得元のディスクボリューム名	
	volumetype	スナップショット取得元のディスクボリュームタイプ (ROOT, DATADISK)		

# 1-11) Snapshot操作

## createSnapshot (A)

概要	スナップショットを作成する
----	---------------

### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
volumeid	スナップショット作成元のディスクのボリュームIDを指定する	Yes
account	アカウントを指定する	Yes
domainid	ドメインIDを指定する	Yes

### Response (※)

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
	XML / JSON	createsnapshotresponse	レスポンスコンテナ	jobid
		jobid	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
		jobresults (※ queryJobResultsのjobresultsの値)		
	非同期job終了時(成功)	snapshot	listSnapshotsのResponseを参照。	



(※)非同期メソッドのため、“createsnapshotresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

# 1-11) Snapshot操作

## createSnapshotPolicy

概要 定期スナップショットポリシーを作成する

### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
intervaltype	定期スナップショットの取得間隔 (WEEKLY, MONTHLY.)	Yes
maxsnaps	スナップショットの世代保持数	Yes
schedule	スナップショットの取得日時 WEEKLY: MM:HH:D (D=1-7, 1=日曜日/2=月曜日) MONTHLY: MM:HH:DD (1-28)	Yes
timezone	指定した取得日時のタイムゾーン (日本時間の場合、“Asia/Tokyo”を指定)	Yes
volumeid	定期スナップショットの取得元ディスクのボリュームID	Yes

### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>createsnapshotpolicyresponse</i>	レスポンスコンテナ	snapshotpolicy
		<i>snapshotpolicy</i>	スナップショットポリシーを格納するコンテナ	id, volumeid, schedule, intervaltype, maxsnaps, timezone
		<i>id</i>	定期スナップショットポリシーのID	
		<i>volumeid</i>	スナップショットの取得元ディスクのボリュームID	
		<i>schedule</i>	定期スナップショットの取得日時	
		<i>intervaltype</i>	定期スナップショットの取得間隔	
		<i>maxsnaps</i>	スナップショットの世代保持数	
		<i>timezone</i>	指定した取得日時のタイムゾーン	



定期スナップショットポリシーは、週次、もしくは月次でそれぞれ1つのみ作成可能です。(2つ以上の作成はできません。)

## 1-11) Snapshot操作

### deleteSnapshotPolicies

概要	定期スナップショットポリシーを削除する
----	---------------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	削除対象の定期スナップショットポリシーID	Yes(※)
ids	削除対象の定期スナップショットポリシーIDグループ(カンマ区切り)	Yes(※)



(※) idと、idsのどちらかは必須です。また、同時に指定することは出来ません。

#### Response

Response (Body)	形式	XML または Json		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>deletesnapshotpolicies response</i>		レスポンスコンテナ
		<i>success</i>	成功時にはtrueが、失敗時にはfalseが返される	

## 1-11) Snapshot操作

### deleteSnapshot (A)

概要	スナップショットを削除する
----	---------------

#### Request Parameters

パラメータ名	説明	必須
id	スナップショットのIDを指定する	Yes
zoneid	スナップショットの存在するZone ID指定する	No

#### Response

Response (Body)	形式	XML またはJson		
	XML / JSON	Node名	説明	子Node
		<i>deletesnapshotresponse</i>	レスポンスコンテナ	jobid
		<i>jobid</i>	非同期メソッドをコールし、ジョブとして登録された際に払い出されたjobid	
	非同期job 終了時 (成功時)	<i>jobresults</i> (※ <i>queryJobResults</i> の <i>jobresults</i> の値)		
		<i>success</i>	成功時にはtrue, 失敗時にはfalseが返される	



(※) 非同期メソッドのため、“deletesnapshotresponse”コンテナには、jobidのみが返されます。queryAsyncJobResultを実行して、結果確認する必要があります。

## 2-1) AmazonWebService EC2互換API を利用する

本サービスでは、AmazonWebServiceのEC2サービスと同様のAPIコマンドを提供しています。

EC2 API は、Cloud<sup>®</sup>サービス内のサーバによって、Cloud<sup>®</sup> Compute APIに変換されます。

既にEC2 APIをご利用のお客様は、既存のEC2ツールを本サービスでもご利用いただけます。

・ APIのアクセス先URLは、以下の通りです。

東日本DC <https://comp-apia.jp-e1.cloudn-service.com/awsapi>

米国DC <https://comp-apia.us-e1.cloudn-service.com/awsapi>

APIクエリは、コマンド(必要に応じてパラメータ)を使用して行います。手順は下記を参照して下さい。



本API利用には、Javaのインストールが必要です。

AmazonWebService EC2 互換 API をご利用になるお客様は、お客様自身にてAPIアクセスキー、証明書(SOAP形式)の発行が可能です。

詳しくは、「Cloud<sup>®</sup>ポータル操作マニュアル」の「3-3) APIアクセスキー・秘密鍵を管理する」をご参照ください。

## 2-1) AmazonWebService EC2互換API を利用する

ここでは、仮想サーバーの情報を表示するコマンド「ec2-describe-instances」を用いて、仮想サーバーの情報を取得する手順について説明します。

### 1

#### EC2APIツールのダウンロード

EC2をコマンドライン操作するために、ツールをダウンロードします。

下記のURLからEC2APIツール( ec2-api-tools-1.6.2.0.zip )をダウンロードし、適当な場所に解凍します。

<http://s3.amazonaws.com/ec2-downloads/ec2-api-tools-1.6.2.0.zip>

```
$ wget http://s3.amazonaws.com/ec2-downloads/ec2-api-tools-1.6.2.0.zip
```

### 2

#### 環境変数の設定

テキストエディタ等に予めコマンドを記載しておきます。  
(※[]の中は実際の値が入ります。)

※sh、bash系→export 、 csh、tsh系→setenv で記載してください。

- export EC2\_HOME=/XXXXX/ec2-api-tools  
「/XXXXX/」→EC2APIツールの解凍場所を記載してください。
- export EC2\_CERT=/XXXXX/cert.pem  
「/XXXXX/」→EC2公開鍵の格納場所を記載してください。
- export EC2\_PRIVATE\_KEY=/XXXXX/private\_key.pem  
「/XXXXX/」→EC2秘密鍵の格納場所を記載してください。
- export EC2\_URL= https://comp-apia.jp-e1.cloudn-service.com/awsapi
- export PATH=\$PATH:\$JAVA\_HOME/bin:\$EC2\_HOME/bin
- export JAVA\_HOME=/usr/lib/jvm/jre-openjdk/  
javaをインストールしている場所を記載してください。

※ターミナルログイン時に、毎回設定する必要があります。



## 2-1) AmazonWebService EC2互換API を利用する

### 3

環境変数の設定 で指定した鍵ファイルの場所に、Cloud<sup>®</sup>ポータルにて発行したEC2アクセス用の証明書と秘密鍵(SOPA APIのX.509証明書、および秘密鍵)を、ポータル画面よりコピーして保存します。

#### EC2用鍵ファイル

- cert.pem (X.509証明書)
- private\_key.pem (秘密鍵)

#### SOAP API

SOAP形式のリクエストを行うためのX.509証明書と秘密鍵です。

#### Compute(東日本)

##### X.509証明書

```
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIDbTCCA1WgAwIBAgIJJAImYZNJJQ2YhMAOGCSqGSIb3DQEBBQUAMEwxCzAJBgNV
BAYTAkpQM4wDAYSQIDAVUub2t5bzEhMBkGA1UECgwST1RUXONvbW11bmljYXRp
O9A4+Eh8kVhEqSex0Q5dRzY=
-----END CERTIFICATE-----
```

##### 秘密鍵

```
-----BEGIN PRIVATE KEY-----
MIIEvgIBADANBgkqhkiG9w0BAQEFAASCBKgwggSkAgEAAoIBAQRr1dCPf f kI4GQ5
```

### 4

#### APIコマンドの実行

XML形式の実行結果が表示されます。

```
$ ec2-describe-instances
RESERVATION 439 187:hogehoge
INSTANCE 439 275 terminated m1.small 2012-03-27T01:13:33-0400 zone 0
monitoring-
BLOCKDEVICE 2012-03-27T01:13:33.000-04:00
RESERVATION 449 187:hogehoge
INSTANCE 449 208 running m1.small 2012-03-27T02:43:54-0400 zone 0
monitoring-
BLOCKDEVICE 2012-03-27T02:43:54.000-04:00
RESERVATION 447 187:hogehoge
INSTANCE 447 208 terminated m1.small 2012-03-27T02:13:29-0400 zone 0
monitoring-
BLOCKDEVICE 2012-03-27T02:13:29.000-04:00
```

## 2-2) AmazonWebService EC2互換API一覧

本サービスにて提供しているAPIは下記となります。

Instances	コマンド	オプション
仮想サーバーの一覧表示	ec2-describe-instances	なし
仮想サーバーの作成	ec2-run-instances	[template id]
仮想サーバーの再起動	ec2-reboot-instances	[virtual machine id]
仮想サーバーの起動	ec2-start-instances	[virtual machine id]
仮想サーバーの停止	ec2-stop-instances	[virtual machine id]
仮想サーバーの削除	ec2-terminate-instances	[virtual machine id]
仮想サーバープランの変更	ec2-modify-instance-attribute	[virtual machine id] -t [offering name]
Template( Image)	コマンド	オプション
テンプレートの作成 (仮想サーバーを起動している場合は自動的に停止されます)	ec2-create-image	[virtual machine id] -n [template name] --request-timeout [time(sec)]
テンプレートの一覧表示	ec2-describe-images	なし
テンプレートの削除	ec2-deregister	[templateid]
テンプレートの公開範囲の変更	ec2-modify-image-attribute	[templateid] {-l (-a entity   -r entity)}

## 2-2) AmazonWebService EC2互換API一覧

本サービスにて提供しているAPIは下記となります。

Snapshots	コマンド	オプション
スナップショットの作成	ec2-create-snapshot	[volume id] --request-timeout [time(sec)]
スナップショットの削除	ec2-delete-snapshot	[snapshot id]
スナップショットの一覧表示	ec2-describe-snapshots	なし
Volumes	コマンド	オプション
ディスクのアタッチ	ec2-attach-volume	[volume id] -i [virtual machine id]
ディスクの削除	ec2-delete-volume	[volume id]
ディスクの一覧表示	ec2-describe-volumes	なし
ディスクのデタッチ	ec2-detach-volume	[volume id] -i [virtual machine id]